

今週のビルマのニュース
2009年2月6日号【0905号】

今週の主なニュース：ガンバリ氏がビルマを訪問

・国連のガンバリ事務総長特別顧問が31日から3日までビルマを訪問した。特使として7度目の訪問。2日にアウンサンスーチー氏と、氏が書記長を務める国民民主連盟(NLD)の幹部らと会談した。会談でスーチー氏は「すべての政治囚が解放されるまで、国連事務総長は訪問するべきではない」とガンバリ特使に伝えた(2日付BBCニュース)。特使は軍政トップ・タンシュエ將軍とは会えず、テインセイン首相と会った。国営テレビによれば首相は特使に「(ビルマでの)政治的安定や経済発展を望むなら国連は経済制裁やビザ発給禁止措置を取り消す努力をするべきだ」と伝えた(3日付AP)。

・軍政は政治活動家の代理人弁護士6人に逮捕状を出した。このほか、民主化運動家の代理人を務めた弁護士3人が既に投獄されている(2日付DVB)。政治囚の数は現在2100人を超える。

その他：ロヒンギャ難民問題ほか

・イギリスのラメル外務閣外相は英議会議員からの質問に書面で回答し、ビルマ軍政が2010年に計画している総選挙を強く非難し、「文民統制に見せかけて実は軍政支配を堅固にするために行うものだ」と述べた(30日付英国ビルマ・キャンペーン)。

・新たに約200人のロヒンギャ難民が2日、インドネシア・アチェ沖で見つかり保護された(4日付AFPほか)。3日には在日ビルマロヒンギャ協会会員ら約60人が駐日タイおよびビルマ大使館前でデモを行い、タイ政府に難民の保護、ビルマ軍政にロヒンギャ民族への人権侵害の停止を訴えた。ASEAN国会議員によるミャンマー議連(AIPMC)は声明で、ロヒンギャ難民を保護するようタイ・インドネシア両政府に求め、2月末のサミットでビルマ難民問題を取り上げるようASEANに呼びかけた。軍政は国内でのロヒンギャ民族の存在そのものを否定している。

・軍政が最近開いた会議の記録が流出し、ビルマ軍司令官がバングラデシュを敵国とみなし強く警戒していることがわかった。両国はベンガル湾にある天然ガス鉱区の位置を巡り対立中で、昨年11月にはビルマが試掘作業を行ったことに抗議してバングラデシュが軍艦を出動させ、ビルマ側が作業を中断した経緯がある。ビルマ軍はバングラデシュとの陸の国境周辺で兵力を増強している(30日付ミジマ)。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

2009年度の草の根・人間の安全保障無償資金協力への応募(建設事業)受け付け中

イベントなど

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクション - 国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、2~6日15~16時)

・横浜YMCA「ミャンマー・サイクロン報告会～発生から8ヶ月・復興に向けて」(横浜中央YMCA906教室、6日18時半～)*要申込

・第62回ビルマ連邦記念日祝典 ビルマのさまざまな民族の文化、音楽、舞踊の披露(南大塚ホール、8日13時～)

・アウンサンスーチー氏と全ての政治囚の釈放を求める緊急デモ行進 国民民主連盟(解放地域)日本支部主催(南大塚・大塚台公園集合、8日19時～)

・ミャンマーの伝統系あやつり「ヨウッター・ポエー」～シリーズアジアの人形芝居 part14～王族から庶民にまで広く愛されたミャンマーの華麗なる伝統芸能 7年ぶりの来日公演 現代人形劇センター主催(川崎・東京、7~11日)*チケット発売中

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会 宇田有三「武装抵抗闘争60周年を迎えたカレン民族同盟(KNU)の今」(大阪ボランティアセンター、20日19時～)

・ビルマ市民フォーラム例会 外国人労働者は今... 在日ビルマ人・外国人労働者のおかれている状況について(池袋・ECOとしま8階、21日18時～)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165